

3

Exsultet つづき

型四三

またしさいとにもに

まはみさんとともに

こころをこめてかみをあおぎ

さんびとかんしゃをささげましょ

目にみえないかみ ぜんぶのちちと かみの

ひとり子 ま イエズス キリストを こころをつくし こえをかざりに ①たえることは

まことにどう といたいせつな ②とめ キリストは わたし たちの ために ③をながし

て えい ぜん のちちに アダムのつみのふさいをか④し そのおもにをといてくださ、⑤た

きょう こぞまことのすぎこしの⑥いわい かみのこひつじが⑦ふられ しんずるものはその

血 によ、て かみのたみとな⑧る

このよる かみは イスラエルの たみを エジプトから

すくいだし ぶじに こいを わたらせてくださ、た このよる キリストをしん

する せん せかいのひとびとは つみのくらやみから かいほう されて すくいのめぐみをうけ せいれいの

まじわりにくねられる このよる キリストは死のかせをうちくだき しょうりのあじと

して死のくにからたちあがられず いくしみふかいちちよ あなたのあいはかぎりなく

どれいをすくうためにひとりごを(わ)たされた アダムのつみ キリストの死によつてあが

なわれたつみ えいこのすくいぬしをもたらしめたこの(しん)ひよ このせいのなるよる

あくはうちはわれ つみはきよめられ めぐみはそそがれてようこ(が)あふれる

せいのなるちちよ てん とち かみとひととがむすばれたこの(と)うといよる あなたの(き)う

かいほう(ほう) しやのてをとおしてささげるこの(さ)うそくを さんびのいけにえとして(お)うけくだ

さ... このろうそくがたえずかがやき よるのくらやみがうちほらあれますよ(う)に

そのひかりはほしぞらにとどき しずむことをしらぬあけのほし キリストとひとつにむすばれ

じんろゝをてらすひかり よよに
 ますよに
 キリストは死にやうちからあつし

いたるまで、アーメン
 いたるまで、アーメン

ニヤル
 7 7 7 7 7 7

♩ ♪ ♪ ♪ → 3

3

わたしの神

P.72 赤

参り

人

聖四に

答唱

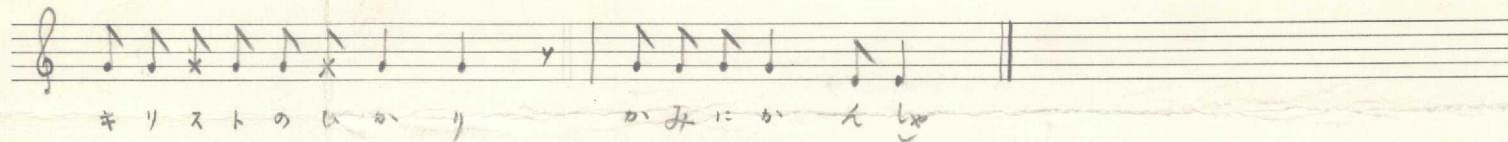
わ た し の か み わ た し の か み - ど う し て わ た し を み す て ら れ る の か

(典礼聖歌第三集 72頁) 新篇22(21)

順序は「まは豊か」と「谷川」の間でうたう

solo

tutti



三回とも同じことを繰り返す但し毎回一音ずつ音をあげてゆく

この間 solo だけロックをつけている。これが終ったらロックの火を皆入る。つす。